

三浦文彰 & ヴァラヴァ

Fumiaki Miura & Varvara
DUO Recital & After Talk

デュオ・リサイタル & アフタートーク

ヴァイオリンの魅力を余すところなく堪能できるプログラム!

J.S.バッハ：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ホ長調 BWV1016

J.S.Bach : Sonata for violin and piano No.3 BWV1016

ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン・ソナタト長調 op.133

D.D.Shostakovich : Sonata for violin and piano op.133

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 op.47 「クロイツェル」

L.v.Beethoven : Sonata for violin and piano No.9 op.47 "Kreutzer"

2023年2月26日(日) 13:30開演(12:45開場) 三井住友海上しらかわホール S席¥7,000 A席5,000(税込)
※A席は安全手すり設置のため、視界が遮られます。

【プレイガイド】チケットぴあ：<https://t.pia.jp/> 052-308-8282(平日11:00~17:00) (Pコード: 228-365) しらかわホールチケットセンター: 052-222-7117
愛知芸術文化センタープレイガイド: 052-972-0430 ローソンチケット: <https://l-tike.com/> (Lコード: 41865) e+(イープラス): eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター: 052-561-7755 <http://www.e-meitetsu.com/mds/hall/> セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート店頭

お問い合わせ 中京テレビクリエーション ☎052-588-4477 (平日11:00~17:00) <https://cte.jp/miura2023/>

【新型コロナウイルス感染症対策に関するご案内】ご来場いただく皆様に、安全に安心してご鑑賞いただけるよう、感染症拡大防止対策を徹底し開催いたします。
中京テレビクリエーションHP <https://cte.jp/>の注意事項をご確認の上、ご来場ください。

※曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。

世界中を席巻する若きヴァイオリンのスター三浦文彰と、
三浦が尊敬するというヴァルヴァラのデュオ、いよいよ日本初共演！
終演後にはトークも聞けるお得なコンサート！

主催: CHUKYO TV

Fumiaki Miura & Varvara

DUO Recital & After Talk

世界最難関のハノーファー国際コンクール史上最年少優勝を皮切りに、大河ドラマ「真田丸」テーマ曲演奏、ピリスとの共演、国内外マエストロ&オーケストラとの共演など、飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍する三浦文彰。そのヴァイオリンは正統な伝統に基づき、優れたテクニック、美しいボウイング、巧みなリズムで彩られ、いつまでも聴いていたいと思わせます。

そして数々の音楽祭出演や名だたる指揮者、オーケストラとも共演、三浦とは息の合った演奏を聴かせるヴァルヴァラとの共演で、古典、バロック、近代それぞれの偉大な作曲家によるソナタを披露!

初めての方も何度も聴いている方も虜にする、聴いてわくわくするようなデュオにご期待ください!

[ヨーロッパ公演の批評より]

三浦文彰の自然な弓使いから紡ぎだされる輝かしい音色は、ヴァルヴァラの緻密な演奏と混じり合い、二つの才能の融合は素晴らしいリサイタルへと結実した。

三浦文彰は、優れたテクニック、美しいボウイング、巧みなリズム・コントロールを披露した。

LA VANGUARDIA(ラ・バングアルディア紙)

聴く者はこの瞬間が永遠に続くようにと願ったほどだった。

REVISTA MUSICAL CATALANA(カタルーニャ音楽誌)

正当なクラシックの伝統に基づいた純然たる様式美とセンスを備えた演奏。

PLATEA MAGAZINE(プラテア誌)



©Yuli Hori

三浦文彰(ヴァイオリン)

Fumiaki MIURA, Violin

Profile



©Jordi Roca

ヴァルヴァラ(ピアノ)

VARVARA, Piano

2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。ロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、NDRエルブ・フィル、ハノーファーNDRフィル、シュトゥットガルト放送響などと共演。共演した指揮者にはドゥダメル、フェドセーエフ、フルシャ、カンブルランなどが挙げられる。18年10月からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティストック・リーダーに就任。20/21シーズンはピリシュとのリサイタルでフィラルモニ・ド・パリにデビューするほか、ボーガ指揮ケルン放送響、ズーカーマン指揮ロッテルダム・フィル、ゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管との共演、ウィーン室内管とのヨーロッパ・ツアーなどを行う。CD録音は、エイベックス・クラシックスよりリリース。使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作"Viotti"。

モスクワ生まれ。グネーシン音楽大学を経て、モスクワ音楽院でミハイル・ヴォスクレセンスキー、ハンブルクでエフゲニー・コロリオフのもと研鑽を積む。2006年ライブツィヒのJ.S.バッハ国際コンクール入賞。2012年のゲザ・アンダ国際ピアノコンクールでの優勝を皮切りに、国際的な活動を開始した。

既にマリンスキー劇場管、ウィーン室内管、チューリッヒ・トーンハレ管、南西ドイツ放送響、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、東京交響楽団等とインバル、ゲルギエフ、ジンマン、フェドセーエフ、ノットラの指揮で共演を重ねている。またこれまでにルツェルン音楽祭、チューリッヒ・トーンハレ、モスクワ音楽院、フィラルモニ・ド・パリ、マリンスキー劇場、ザルツブルグ・モーツァルテウムなどでリサイタルを行っている。CDはモーツァルトとヘンデルの作品集とリストのソナタがDisCameraからリリースされている。